

経営ビジョン実現に向けたサステナビリティ重要課題(マテリアリティ)の特定と推進

基本的な考え方

当社は、経営ビジョン「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」の実現に向けて、中期経営計画「LIVE計画」を推進し、持続可能な社会の発展・事業の成長を目指したサステナブルな経営を進めています。

リスク低減に向けた経営基盤としての重要な取り組み、およびオーラルヘルスケア・清潔衛生習慣などを通じた一人ひとりの「心と身体へのヘルスケア」の実現に挑戦しています。

SDGs(持続可能な開発目標)への貢献

ライオングループは、2030年に向け、次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーとして、商品・サービスを通じて目標3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」の達成に貢献していくとともに、事業プロセスにおいても中期経営計画「LIVE計画」の達成に向けた取り組みを通じて、SDGsが目指す世界の実現に寄与します。



サプライチェーンにおけるサステナビリティ重要課題のリスクと機会

サプライチェーン全体及びステークホルダーを網羅的に勘案し、リスクと機会に重要課題を層別しました。また、当社の事業活動を通じて特に貢献しているSDGsの目標と特長的な取り組み(2018年Highlight:P23~32参照)をサプライチェーン上で示しています。



重要課題の特定

当社は、経営ビジョンの実現やSDGsへの貢献など、2030年を見据えて、2020年までに取り組むべき「サステナビリティ重要課題」を、右記のステップを通じて特定しました。特定にあたっては、サプライチェーン全体およびステークホルダーを網羅的に勘案し、リスクと機会に層別しました。

また、各課題の実行において取り組みの方向性を定め、目標およびKPIを設定し、達成に向けて活動しています。

サステナビリティ重要課題の考え方



サステナビリティ重要課題の特定ステップ

Step 1

社会的Issueの抽出
ISO26000・SDGs・GRIスタンダード・国連グローバルコンパクト10原則をもとに社会的Issueを39項目抽出しました。

Step 2

社会・事業への影響度を確認
Step1のIssueを、それぞれ社会・事業への影響度の視点で、重要度評価を行い、関連部所、サステナビリティ担当役員、取締役でレビューを行いました。

Step 3

重要課題の妥当性
第三者機関の視点をふまえながら各項目の妥当性を検討し、見直しをはかりました。

Step 4

執行役員会・取締役会にて承認
特定した2020年サステナビリティ重要課題は、執行役員会・取締役会にて承認されました。